

アウトラインを活用した文章作成

東京大学 大学院工学系研究科
大学総合教育研究センター
吉田壘

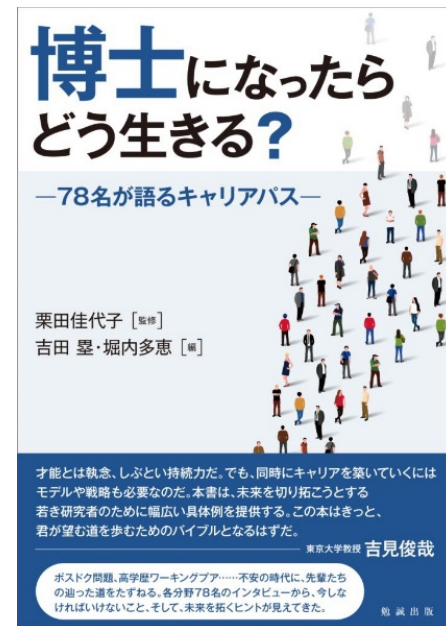
2021年8月2日

Special Thanks to 栗田佳代子先生

自己紹介 ～吉田壘～

- 東京大学 大学院工学系研究科 准教授
- 東京大学 大学総合教育研究センター 高等教育部門長
 - 教育工学（EdTech、ファカルティ・ディベロップメント）
 - オンライン教育の支援（ポータルサイト・OES・CS…）
- 東京大学フューチャーファカルティプログラム（FFP）1期生
 - 授業の面白さに感動
 - キャリアチェンジを決意

• [研究室 HP](#)



- Slido
 - 匿名で質問できる Web サービス
 - 教員から学生に質問をすることも可能
- 学生の使い方
 - <https://sli.do> へアクセスして ID を入力して部屋に入る
- 教員の使い方
 - アカウントを作成する（無料アカウントあり）
 - 質問部屋を作成し、ID をメモしておく
 - ID を伝え、適宜質問に答える / 質問を投稿する



ワークショップの目的・目標

- 目的

- より良い文章作成をするために、アウトライン思考法を学び、活用できるようにする

- 目標

- アウトライン思考法とは何かについて説明できる
- アウトラインを作成する際のポイントを説明できる
- アウトライン思考法を実践する

目次

- アウトライン思考法
- 自己紹介ワーク
- 文章設計・作成ワーク
- おわりに

アウトライン思考法

アウトライン思考法とは

- アウトラインとは

- 一般的には物事の概要・全体像のこと
- ここでは「伝えたい内容の要素を短いキーワードや文章で表現して羅列したもの」とする
- 例: このスライド自体もアウトライン

- アウトライン思考法とは

- アウトラインを使って物事を整理・思考する方法
- 様々な場面で活用可能
 - 文章作成, 資料作成, ワークショップ開発, 研究計画書作成(学振・科研費), 思考の整理…
- 文章作成におけるメリット
 - 伝えたい内容の全体像を把握・整理できる
 - 文章のがほぼ無くなる

用語説明

- 要素

- アウトラインに記述する短いキーワードや文章のこと
- これ自体も要素

- 子要素

- 要素の中に入っているサブ要素のこと
- 上記の「要素」に対して、「これ自体も要素」が子要素

- 親要素

- サブ要素を含んでいる要素のこと
- 上記の「要素」は「これ自体も要素」の親要素

- インデント（字下げ）

- 要素の親子関係を明示するために用いるもの
- ある要素の子要素を作りたいときは、一段階右にインデント

おすすめのソフトウェア

- Notepad++
 - <https://notepad-plus-plus.org/>
 - 一言で説明すると高度なメモ帳
 - インデントが保持されますし、非常に軽量なため使いやすい
 - メモ帳なので、好きなところから書き始められる
 - どこでもインデントできる
 - 1つ右にインデントしたいときは「タブ」を押す
 - 1つ左にインデントを戻したときは「Backspace」もしくは「Shift + タブ」を押す
 - 1人で黙々と作業したいときはこちらを使う
- Google ドキュメント
 - <https://docs.google.com/document/>
 - Google が提供している他者とリアルタイムに共同編集できるサービス
 - アウトラインを作る際はリストを利用する
 - まずリストを作る（「箇条書き」というボタンを押して作成してもできるが、自分が作る時は「*」（半角アスタリスク）を打った後にスペースを押してリストを作成）
 - 1つ右にインデントしたいときは「タブ」を押す
 - 1つ左にインデントを戻したときは「Shift + タブ」を押す
 - 複数人で共同で作成したいときは、こちらを使う

アウトラインを作るポイント

- 心構え

- 文章作成中にアウトラインが変わることを許容する

- 目的の明確化

- 文章を通して何を伝えたいのかを明確にする

- 要素の作成

- 伝える上で重要な要素を挙げて、流れを作る
- 親要素の詳細な説明になるように子要素を作る
- 具体的に文章やスライドがイメージできるレベルまで書く
- 要素間のつながりがスムーズか確認する

文章作成中にアウトラインが変わることを許容する

- 実際に文章を書くと、アウトラインとは異なるものの方が良いな、と思うことあり
- 最初に作成したアウトラインにはこだわらずに柔軟に変更
- アウトラインは変わるものだと思う
- 適当に作ると出戻りが多くなるので、できるだけアウトラインを詳細に作ることが重要

目的の明確化

文章を通して何を伝えたいのかを明確にする

- 目的を明確化すると、要素が必要か不必要か判断できる
 - 「何を伝えたいのか？」（目的）を意識することで、「それを伝えるためにはどのような要素（情報）を出せばよいのか？」を考えられる
 - 例: 今回のワークショップで,
Notepad++の詳しい使い方の説明は不必要な要素

要素の作成①

伝える上で重要な要素を挙げて、流れを作る

- 伝えたい物事において重要な要素を挙げる
 - 細かい要素を考えると、伝えたいことの全体像が見えにくくなる
- 重要な要素を挙げた後は、スムーズな流れになるよう考える
 - 例: わかりにくい自己紹介？（やり方次第では印象に残るかも？）
 - 家族構成
 - 昨日の晩ごはん
 - 名前
 - 例: わかりやすい自己紹介
 - 名前
 - 所属
 - 最近興味を持っていること

要素の作成②

親要素の詳細な説明になるように子要素を作る

- 具体的な情報を載せることでアウトラインと実際の文章との相違を少なくすることができる
- 例: 自己紹介
 - 名前
 - 吉田壘
 - 所属
 - 東京大学 大学院工学系研究科
 - 東京大学 大学総合教育研究センター（兼担）
 - 最近興味を持っていること
 - 大規模なアクティブラーニングの実現
 - アントレプレナーシップ教育との連携

要素の作成③

具体的な文章がイメージできるレベルまで書く

- そのレベルまでアウトラインを書くことで
 - アウトラインと実際の文章との相違を少なくすることができる
 - 構成レベルで検討ができる
 - 書き直しが少なくなる
- 例: 自己紹介
 - 名前
 - 吉田壘
 - 所属
 - 東京大学 大学院工学系研究科
 - 東京大学 大学総合教育研究センター（兼担）
 - 最近興味を持っていること
 - 大規模なアクティブラーニングの実現
 - アントレプレナーシップ教育との連携

要素の作成④

要素間のつながりがスムーズか確認する

- つながりを確認することで、文章の流れを再検討できる
- 例: 自己紹介
 - 最近興味を持っていること
 - 大規模なアクティブラーニングの実現
 - アントレプレナーシップ教育への関与
 - 所属
 - 東京大学 大学院工学系研究科
 - 東京大学 大学総合教育研究センター（兼担）
 - 名前
 - 吉田壘

自己紹介

自己紹介

- (個人) これまでの感想・疑問を考える (2分)
 - 学んだこと, 疑問に思ったことなど
- (ペア) 自己紹介・シート確認する(2分×2人+2分)
 - 所属, 名前, これまでの感想・疑問など共有する
 - 自分のチーム番号を確認する
 - Zoom ウィンドウの左上に「ルーム1」などと表示
 - Google ドキュメント ([フォルダ](#)) に名前を記入する
- (全体) 共有する

文章設計・作成ワーク

文章設計・作成ワーク

・テーマ

- ・自分の好きなものを相手に伝える
 - ・相手にも興味を持ってもらえるように書く
- ・文字数は200字程度（長くなってもOK）

・ワーク

- ・（個人）アウトラインを作成（10分）
 - ・ Google ドキュメント（[フォルダ](#)）に作成
 - ・できるだけ子要素・孫要素（子要素の子要素）も作成
- ・（ペア）共有・議論(疑問あればまとめる)（7分×2）
- ・（全体）共有
- ・（個人）アウトラインを作成・(可能なら)文章も作成（20分）
- ・（ペア）お互いフィードバック・議論（8分×2）
 - ・読み手に書き手の意図が伝わるか？ 重要な要素があるか？
- ・（全体）共有

アウトライン例

- 好きなもの
 - ポーカー（テキサスホールデム）
- アウトライン
 - ポーカーの説明
 - テキサスホールデムは普通のポーカーと違う
 - 相手も使える共通のカードと自分専用のカードがある
 - 共通カードと自分専用カードの組み合わせた「手」で、相手の「手」と勝負する
 - 共通カードがある分、相手の「手」を推察しやすく、駆け引きが多い
 - ポーカーの面白いところ
 - 共通カードがあるため駆け引きが多いところ
 - ポーカーの良いところ
 - 面白いだけでなく交渉力も身につく
 - 相手視点で自分がどう見えているのかを考えて行動できるようになる
 - 人生の糧となる

文章例

- 好きなもの

- ポーカー（テキサスホールデム）

- 文章

- 私はポーカーがです。特にテキサスホールデムという、普通のポーカーとは違うルールのポーカーが好きです。自分専用のカードだけでなく、相手も使える共通のカードがあって、自分専用カードと共通カードを組み合わせた「手」で、相手の「手」と勝負します。共通カードがある分、相手の「手」を推察しやすく、駆け引きが多いところがとても面白いんです！ここで、ただ面白いだけではなく、相手視点で自分がどう見えているのかを考えて行動できるようになるため、日常における交渉力も身につきます！実際日常でも役に立っていて人生の糧となっています。

興味持った方は是非一緒にやりましょう！

おわりに

おわりに

- アウトラインで考えて、
効率的に文章作成しましょう！
- アウトラインの考え方はどこでも通用します
 - 文章作成, 資料作成, ワークショップ開発,
研究計画書作成(学振・科研費), 思考の整理…
- アンケートにお答えください！
 - <https://forms.gle/QMKvDRPpCaoRX98r5>

参考文献

- <http://edulab.t.u-tokyo.ac.jp/2021-05-24-outline-thinking-basic/>
- <http://edulab.t.u-tokyo.ac.jp/2021-07-13-outline-thinking-writing-example/>
- <http://edulab.t.u-tokyo.ac.jp/2021-07-15-outline-thinking-workshop-design-example/>